

- 市民生活や都市経済を支える基幹的な社会インフラである、本市の水道事業及び工業用水道事業については、水需要の減少、施設の老朽化、自然災害の激甚化や物価高騰など、事業を取り巻く環境が大きく変化しています
- 環境の変化に的確に対応し、将来にわたり安全で良質な水を安定して供給していくため、持続可能な経営の確保に向け、有識者や利用者等からの専門的・多角的な知見等を継続的に経営に反映させる仕組みが必要です



横浜市水道経営審議会の設置

※横浜市水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例(令和8年6月改正)に基づき設置